

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 境港総合技術高等学校

重点項目	地域連携	提出日	令和5年4月21日
------	------	-----	-----------

1 学校目標																					
<p>(1) 個々の持つ個性、適性、可能性を最大限に開花させる。</p> <p>(2) 自主・自律の精神と、他者への思いやりを持った心の育成と創造性豊かな人格を形成する。</p> <p>(3) 地域の特性を生かして成長し、確かな知識と技術を身につけ未来を切り拓く人間を育成する。</p>																					
2 重点項目に係る目標・成果																					
目標	成果																				
<p>○地域連携をとおして、専門教育への理解をはかるとともに、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。</p> <p><数値目標></p> <p>【全体】</p> <p>(1) 総合技術フェア参加者1,000名</p> <p>(2) 課題研究発表会参加者40名</p> <p>【各科】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>海洋科</td> <td>・船舶・漁業関係に80%以上就職する。</td> </tr> <tr> <td>食品・ビジネス科</td> <td>・就職希望者の90%以上が食品・ビジネス科で学んだことを活かし、食品及びビジネス関連へ就職する。</td> </tr> <tr> <td>機械科</td> <td>・機械・自動車関連企業に90%以上就職する。</td> </tr> <tr> <td>電気電子科</td> <td>・電気電子関連企業に85%以上就職する。</td> </tr> <tr> <td>福祉科</td> <td>・福祉関連企業に就職希望者の60%以上就職する。</td> </tr> </table>	海洋科	・船舶・漁業関係に80%以上就職する。	食品・ビジネス科	・就職希望者の90%以上が食品・ビジネス科で学んだことを活かし、食品及びビジネス関連へ就職する。	機械科	・機械・自動車関連企業に90%以上就職する。	電気電子科	・電気電子関連企業に85%以上就職する。	福祉科	・福祉関連企業に就職希望者の60%以上就職する。	<p>○多くの専門知識や技能を習得し、専門資格の取得につながった。</p> <p><数値結果></p> <p>(1) 総合技術フェア参加者406名 (令和元年度1,075名)</p> <p>(2) 課題研究発表会参加者14名 (令和元年度35名)</p> <p>【各科】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>海洋科</td> <td>78.9% (令和3年度93.8%)</td> </tr> <tr> <td>食品・ビジネス科</td> <td>90.5% (令和3年度96.3%)</td> </tr> <tr> <td>機械科</td> <td>100% (令和3年度90.0%)</td> </tr> <tr> <td>電気電子科</td> <td>86.7% (令和3年度94.7%)</td> </tr> <tr> <td>福祉科</td> <td>60.0% (令和3年度94.4%)</td> </tr> </table>	海洋科	78.9% (令和3年度93.8%)	食品・ビジネス科	90.5% (令和3年度96.3%)	機械科	100% (令和3年度90.0%)	電気電子科	86.7% (令和3年度94.7%)	福祉科	60.0% (令和3年度94.4%)
海洋科	・船舶・漁業関係に80%以上就職する。																				
食品・ビジネス科	・就職希望者の90%以上が食品・ビジネス科で学んだことを活かし、食品及びビジネス関連へ就職する。																				
機械科	・機械・自動車関連企業に90%以上就職する。																				
電気電子科	・電気電子関連企業に85%以上就職する。																				
福祉科	・福祉関連企業に就職希望者の60%以上就職する。																				
海洋科	78.9% (令和3年度93.8%)																				
食品・ビジネス科	90.5% (令和3年度96.3%)																				
機械科	100% (令和3年度90.0%)																				
電気電子科	86.7% (令和3年度94.7%)																				
福祉科	60.0% (令和3年度94.4%)																				

3 実施事業

【高等学校課事業】

学校連携チャレンジ・サポート事業（SPH）	海洋科	<ul style="list-style-type: none"> ・公立鳥取環境大学と連携することにより、本校生徒と大学生と一緒に実習船に乗船し、高度な技術を使つての海洋調査を間近で体験することにより、生徒の環境調査に関する関心を高め、海洋関連分野に関する進路意識の向上につながった。
社会人講師活用事業	全科	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の各専門家を招聘し、講義、技術指導を実施し、職業観、勤労観の育成の一助となった。

【独自事業】

地域とつながる教育	<p>食品・ビジネス科</p> <p>全科</p> <p>食品・ビジネス科</p> <p>機械科</p> <p>福祉科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5月には3年振りに開催された中野港漁村市に出店し、地元水産関係者ととも水産業の盛り上げに貢献した。また、12月には米子空港で開催されたクリスマスイベントで本校実習製品を販売し、接客マナーを身に付けることができた。 ・総合技術フェアは、3年振りの開催となり、来場者（406名）は目標には届かなかったが、アンケートの回収率は高く、生徒の接客や対応、取り組み、内容について高評価をいただき、地域への発信・連携・貢献ができた。 ・地元水産物をよりおいしく食べる方法、実習製品のラベルデザイン作成等の事業を実施し、水産加工業に対する興味・関心が高揚し、水産加工技術と魚食の普及につながった。 ・福祉科のコンサートにおいて連携し、マイコンカーを展示・実演し地元園児の関心を集めイベントを盛り上げた。 ・福祉科の学習で学んだことを地域に還元し、なかよしフェスバル・秋のぼかぼかコンサートで地元の園児とふれあい、コミュニケーション能力の育成と、地元子ども福祉に対する興味関心の向上につながった。
地域貢献と役立ち感の醸成	<p>福祉科</p> <p>食品・ビジネス科</p> <p>全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動は、校内外で実施。特に、はるかひまわり絆プロジェクトでは、校内外でひまわりを栽培することで、命の大切さを再確認した。 ・食品・ビジネス科の生徒が、感染症感染防止対策を万全に行い、境夢みなとターミナルを会場に、新巻鮭の販売を実施し、接客マナーとコミュニケーション能力が身についた ・その他の高校生出前講座、公的施設の電気機器レスキュー隊は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、実施できなかった。

学校理解のための情報発信	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題研究発表会は3年振りに来客を招いて開催し、専門科の学習内容を知っていただく良い機会となった。 ・ 中学生体験入学は、参加者からのアンケートで、時期、時間、内容ともに高評価で、進路を決定するうえで大変参考になったとの感想があった。
--------------	----	---

4 総合所見（成果・評価）

コロナ禍の影響から計画していた事業の完全実施とはいかなかったが、地域連携重点校として、地域と連携しながら地域の教育資源を最大限に活用し、専門教育への理解を図るとともに、専門人材育成に取り組んできた。その結果、食品・ビジネス科では、「LOCAL FISH CAN グランプリ」において地元の天然クロマグロの胃袋を加工した缶詰が、地域との連携なども高く評価され、全国55チームが参加した中で最優秀賞に輝くなど、地域と連携した取り組みが成果を上げ、生徒の自己肯定感や達成感、チャレンジ精神の育成にもつながった。

総合技術フェア、課題研究発表会はコロナ収束とは言えない中で3年ぶりに開催することができた。参加者数は目標に届かなかったが、参加者には高評価をいただいた。来年度はコロナ以前と同様に参加していただけるよう、引き続き地域への情報発信・連携に取り組みたい。

また、多くの生徒が専門性を活かした地元企業に就職し、習得した知識や技術を活かし、地元社会に貢献できる人材の育成につながった。

※枚数任意